

(3) 合乳体細胞数検査成績

良質な生乳を生産することによる酪農経営の安定化および消費の拡大を図るため、衛生的に優れた品質の生乳確保を期して体細胞数検査を実施しました。

ア. 方 法

(7) 試 料

生乳取引の行われる工場において、CSおよびBCから搬入される合乳を対象としました。

(4) 検査回数

旬間1回以上

(7) 試料採取箇所および方法

CSおよびBCを経由した試料をタンクローリーから採取しました。

(1) 検査方法

蛍光光学式体細胞数測定機により検査しました。

イ. 結 果

表6に月別および地区別の体細胞数検査成績を示し、表7に地区別成績の内訳を示しました。検査延試料数および検体数はそれぞれ70,130試料、140,260検体(1試料当たり2検体)で、対象検査乳量は757,368.5tでした。

全道平均で体細胞数30.4万/ml以下が98.4%で、前年度(98.6%)と比較して0.2ポイント下回りました。また、20.4万/ml以下では72.5%と前年度(70.5%)と比較して2.0ポイント増加しました。

月別の変動では30.4万/ml以下の最高値は12月・1月・2月の99.1%、最低値は9月の95.5%、その範囲は3.6ポイントで、北海道胆振東部地震の影響が顕著でした。

図3に体細胞数30.4万/ml以下および20.4万/ml以下の月別変動を示しました。